

奈良県立医科大学附属病院「高度生殖医療センター」
開設記念シンポジウム

新しい生命の誕生を支援 ～最新医学の力で不妊症を克服する！～

協賛募集趣意書

令和5年12月吉日

奈良県立医科大学理事長・学長
細井裕司

奈良県立医科大学産婦人科学・教授
奈良県立医科大学高度生殖医療センター・副センター長
木村文則

ご挨拶

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、奈良県立医科大学附属病院「高度生殖医療センター」開設記念シンポジウム「新しい生命の誕生を支援～最新医学の力で不妊症を克服～」を2024年5月11日（土）に開催させていただくこととなり、鋭意準備を進めております。

現在、本邦の抱える大きな問題として少子高齢化があります。少子化は顕著であり、2015年までは、年間の出生数は100万人を維持していましたが、2022年におよそ78万人となり、ここ数年の間に急激に減少しています。これらのことから産科診療や生殖補助医療に対する社会的な期待は非常に大きくなっています。厚生労働省は、実際に不妊の検査や治療を受けたことがある夫婦の数は、5.5組に1組と報告しています。また、体外受精の治療周期数は2021年には498,140周期となり、体外受精児数もそれに伴い増加の一途をたどり、2021年には69,797人、実に出生数の8.60%(69,797/811,622)に達しています。

今回、奈良県立医科大学附属病院に高度生殖医療センターを開設しますが、これは、奈良県にお住まいの方を中心に不妊で苦しむ生殖世代の方に妊娠、出産、育児を経験していただき豊かな人生を送っていただくことを目的としています。

奈良県立医科大学附属病院高度生殖医療センターでは、奈良県内の医療施設としては初めてとなる診療が数多く行われます。①内視鏡手術と体外受精のハイブリッド診療、②着床前診断、③卵巣組織凍結保存、④精巣内精子採取をはじめとする男性不妊手術などです。地域にある不妊診療施設と連携しながらこれらを実施してまいります。

一方、近年のがん治療の発展はめざましく、多くの若年がん患者ががんを克服し生活できるようになってきました。しかしながら、がんおよびその治療により妊娠する能力が損なわれることがあり、多くのがんを克服した患者を苦しめています。近年これらの患者に対し卵子や卵巣などを凍結し保存しておき妊娠する力を維持する技術が開発されてきました。がん診療拠点病院である当院は、本事業も精力的に行う所存です。

これらの医療内容と連携システムを紹介させていただくことにより、より多くの患者様に福音をもたらしたいと考え、今回シンポジウムを企画することといたしました。

シンポジウムの経費は、我々の施設ならびに公的助成金等を以てこれをまかなうのが本来のあり方ではございますが、実際にはこれだけでは不十分で、皆様方の御援助に頼らざるを得ないのが実情であります。

つきましては、これらの趣旨をご理解頂き、協賛のご協力を頂ければ幸甚に存じます。何卒よろしくお力添えを賜わりますようお願い申し上げます。

末筆ながら、御社の一層のご発展を祈念申し上げます。

謹白

奈良県立医科大学理事長・学長
細井裕司

ご案内

1. 会の名称：
「高度生殖医療センター」開設記念シンポジウム
2. 会の主催者：
奈良県立医科大学理事長・学長 細井裕司
3. シンポジウム責任者
奈良県立医科大学 産婦人科学 教授 木村文則
4. 会期：
2024年5月11日(土)13時～16時
5. 開催場所：
奈良県奈良市三条大路一丁目691-1
奈良県コンベンションセンター「天平ホール」
6. 参加者：
500 名
7. シンポジウム概要
基調講演一題、特別講演一題、パネルディスカッション
詳細は別紙1のチラシを参照
8. 協賛内容：
一般協賛
9. 協賛方法（寄附の方法）
別紙2に示す奈良県立医科大学寄附金規程に準じて実施
10. お問い合わせ・お申し込み先：
運営事務局 奈良県立医科大学産学連携推進センター 塩山忠夫
TEL 0744-29-8853 Mail: shioyama@naramed-u.ac.jp



令和6年度前期 奈良県立医科大学公開講座
第51回「くらしと医学」



「奈良医大高度生殖医療センター」開設記念シンポジウム
新しい生命の誕生の支援
～最新医学の力で不妊症を克服する！～

日時 令和6年5月11日（土）13：00～16：00
会場 奈良県コンベンションセンター
天平ホール

■プログラム

参加無料・申込不要

定員：500名

13：00



開会あいさつ

細井裕司（奈良県立医科大学 理事長・学長）

13：15



基調講演

『“高度生殖医療センター”の設立背景と役割』

木村文則（奈良県立医科大学 産婦人科学教授）

14：00



特別講演

『ガン生殖医療の現状と未来』

鈴木 直（国際妊孕性温存学会理事長
聖マリアンナ医科大学 産婦人科学講座 教授）

（休憩10分）

14：55

パネルディスカッション

『患者の期待に応える不妊治療の充実化（仮）』

（モデレーター）木村文則

（パネラー）

患者 2 名
医師 3 名
予定

16：00 閉会

主催：奈良県立医科大学

後援：MBTコンソーシアム

奈良県大学連合（奈良教育大学・奈良女子大学・奈良県立大学・
奈良先端科学技術大学院大学・畿央大学・帝塚山大学・天理大学・
奈良大学・奈良学園大学・近畿大学農学部・天理医療大学）

特別協力：読売新聞社

お問い合わせ：

奈良県立医科大学
総務広報課・県民健康増進支援センター
公開講座担当
〒634-8521 橿原市四条町840番地
TEL: 0744-22-3051（内線2297、2206）

別紙 2

(第 1 号様式)

		寄附No.	
寄 附 申 出 書			
		年 月 日	
公立大学法人 奈良県立医科大学 理事長 殿			
寄附者 住 所 (〒)			
氏 名		印	
(法人等の団体の場合、「住所」欄は主たる事務所の所在地を、「氏名」欄は法人(団体)名及び代表者の方の職名・氏名を記載してください。)			
下記のとおり寄附を申し出ます。			
記			
1 寄 附 金 額 金		円	
2 寄附の目的(いずれかに☑を記載願います。)			
☐ 奈良県立医科大学の()研究領域の学術研究の奨励のため			
☐ 公立大学法人奈良県立医科大学未来への飛躍基金の充実のため			
☐ 公立大学法人奈良県立医科大学連携交流推進基金の充実のため			
☐ その他(上記3項目に該当しない場合、具体的な目的を()欄に記載願います。)			
(奈良県立医科大学高度生殖医療センター立ち上げに伴う諸費用支援)			
3 寄附に係る条件(寄附に特別な条件<複数回に分割して寄附を行う、小切手により寄附を行う、使用期限を定める等>を付す場合のみ記載願います。)			
※ 次のような条件を付した寄附金の受入は、特別な事情がない限りお受けできません。			
(1) 寄附金により取得した財産を無償で寄附者に譲与すること(2) 学術研究の結果生じた権利(特許権、実用新案権、意匠権、著作権その他これらに準ずる権利)を寄附者に無償で譲与または使用させること			
(3) 寄附者が寄附金の使途について調査を行うこと(4) 寄附申込後、寄附者がその意思により寄附金の全部又は一部を取り消すことができること(5) その他、理事長が特に教育研究上支障があると認める条件			
4 寄附金受入決定通知書の送付先			
住 所 (〒)		所 属 名	
氏 名		電話番号	
5 その他			
講 座 (領域) 名		講 座 (領 域) の 長 の 氏 名	
		印	

(第2号様式)

寄 附 金 受 入 決 定 通 知 書

奈医大第 号

年 月 日

様

公立大学法人奈良県立医科大学 理事長 印

年 月 日にお申し出いただいた下記の寄附につきましては、受け入れさせていただきますことといたしましたので、お知らせいたします。

つきましては、同封の振込依頼書により納付くださるようお願いいたします。

なお、南都銀行で納付いただく場合は、振込手数料は無料となりますが、他行で納付いただく場合は、誠に申し訳ありませんが有料となりますので、ご了承願います。

今後とも、本学における教育、研究、診療等の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 寄 附 金 円

2 寄付の目的